

日本クリスチャン・アシュラム連盟

イエスは主なり



# 日本アシュラム

'92 11.1 82

開心・静聴・充滿・献身・奉仕



## 交わり

### 栄光の富

小島 十二

日本の牧師と信徒は、教界の多行事遂行と、世界の終末的激動の対応に迫られてその責任感や圧迫感に押しつぶされそうに必死であると、言ったら言えずだろうか。……しかし激しい運動の中心軸が正しく定まっておれば大丈夫のように……。

「真のキリスト教の中心は何か」の問いに「それは聖書だ、愛だ、救いだ、十字架、祈り、伝道、教会、など」の答えがでたが、私はキリスト教の中心は、救い主イエス・キリスト様による交わりであって、教義や組織や運動や方策やリーダーでもないと思慮する必要があると思う。

本紙では、祈りの中に示された二つのことを記したい。

第一は、真の神との交わりを確かめ深めること。(Iヨハネ1・1〜4)

日本人社会で受け入れられている信心の確かさの証明は、霊現象とか、バチがあたるとか、先祖の霊が言ったとか、先祖まつりや統一教会、ものみの塔、幸福の科学、〇〇教祖、生き神さ

まの指導や組織で確かめ、安心しようとしている。その実体は、天地万物を統治される神の聖霊が導きなさる聖父と御子との交わりの喜びは存在せず、むしろサタンの支配下にある偽りの天使の巧みな偽装と偽善のしわざにあざむかれ、捕虜のように束縛されている訳だから、クリスチャンが神なき暗やみから神の光の中に導かれて、罪を許され清められ、もはや罪に定められることのない解放と自由との交わりの確かさと十字架の真理が、教会を通して強くあかしされなければならない。

これはまた、福音と恵みの交わり(ピリピ1・7)であり、御霊の交わり(2・1)によるきよめの生活と苦難に耐え勝つ教会の喜びの交わり(3・10)である。

キリスト教会が古い伝統行事や儀式や信心深い様子しながら信仰の実を捨てる無力無用の習慣であるはずはないのである。

正しく強く歩ませる道にアシュラムがあるなら復興されるであらう。

第二は、神様がわれらに知らせようと願っておられる栄光の富の奥義を知ることである。(コロサイ1・24〜29)

私は、今年初頭、エレミヤ記33・3「わたしに呼び求めよ。そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事をあなたに示す。」の聖言をいただき、私に隠されていることを祈り求めているうちに、自分に隠れた自分の罪が示され、なお、とりなしの祈り、王なる祭司の貴い責務の不足を知らされた。(Iペテロ2・9、ルカ18・7、ヨハネ16・24〜26、ガラテヤ4・6) また神様に背いて失われてゆく世人に対する嘆き(ロマ8・26、マタイ9・36)示され、悪魔との戦いと勝利に召されて、(エペソ6・10〜18、ヤコブ4・7)苦闘しているのであるが、さらにまされた神の栄光の富が用意されて、この道で主に生涯を明けわたし共に歩み、常に神を待ち望み、死にいたるまで忠実でありうるようにと主の交わりのうちにすべてを見出し、うちにいますキリストこそ、栄光の望み、すべてのすべてと信頼しさんびをささげます。

「主イエスは勝利」

アシュラムの全同志に、ますます神の奥義である栄光の富キリストの交わりと祝福があるように。

(関西アシュラム・日本イエス

・キリスト教団芦屋川教会)



スタンレー  
ジョーンズ  
コーナー

### アシュラム式決定法

もの事を決定する際、通常の多数決の方法を用いると、少数意見が多数意見に押し切られる感が残ります。

そこで、私たちは、それに代わる方法を編み出しました。

決定すべき事柄が皆の前に持ち出されますと、

一、まず黙祷をし、神のみ心を祈ります。

二、順に、それも口数の最も少ない人から始めて、皆の意見を聞きます。

三、この手順によって全員の意向を反映した決定が導き出せるよう努めます。

四、必要なら、決定を一晚延期し、睡眠中に神が語りかけて下さるのを待ちます。

五、これでも駄目な場合は、多数決もやむを得ず行ないます。

(E・S・ジョーンズ)

上昇のうたー霊的自叙伝より

### インドにおける

### キリスト教

キリスト教宣教師、スタンレーは、

次のように言っている。旧約聖書・西

欧文明・キリスト教会、この三つは、

インドでは説いても言い争いの種にな

るばかりであることが分つたのである。

私は戦線を縮小してキリストに立つべ

きであると悟つた。福音は、イエスご

自身が福音である。私の任務は、イエ

スに生き、イエスを示すことを知つた。

私の仕事は単純化された。

キリスト教の中心は、キリストであ

る。これが、驚くべき霊的明晰さをも

つ偉大な国民が、洞察した最も重要な

事柄であった。それによれば、クリス

チャンとは、イエスにすべてをかけ、

キリストの心と霊とを捕えて、キリス

トの命を生きる者である。

これを広い観点から見ると、こ

の発見が、はつきり心に刻まれるまで、

インドが、キリスト教を何もかもひっ

くくめて受け入れなかったのは、神の

ご摂理であつたと考えざるを得ない。

この洞察なしにキリスト教をインドが

受け入れていたならば、インドのキリ

スト教は、単なる我々のキリスト教の

ぼやけたコピーとなり、その弱点も受

け継いでしまったであろう。

### ミニ・アシュラムとは何か

クリスチャン・アシュラムの創始者

E・S・ジョーンズは「小アシュラム

とは何か」という講演の中で次のよう

に言っている。

アシュラムは「神の国」の体験を目

指すキリスト者の集いである。神の国

がこの集まりで実現するために、この

集まりそのものが、互いの間で御国の

雛形にならうとする。そこでお互いの

間にある各種の障壁となつているもの

を取除くようにする。

①身分、階級、男女の差別感を除くた

めに、お互いを〇〇さんと呼ぶ。

②教える者と教えられる者との区別を

なくすために、黙想の時間に示された

ことを分かち合う。

③さらに心にある垣根を除くために、

この二つの焦点には、常にキリスト

が居られて、各自のニードを御自身へ

と導き、満して下さる。そして、充満

の時には、主の導きによって得たこと

を分かち合うのである。この二つをア

シュラムから除けば、アシュラムは墮

落して、単なる協議会、話し合いの場

となり、観念的なものに終わり、生き

た経験とならない。つまり「言」が肉

体とならず、言で終わる。それで、ど

のようにプログラムを組み替えてみて

も、この二者は必ずアシュラムの前と

後に置かれなければならないものであ

る。(祈りの友誌十六号

一九六八・十一月二)

アシュラム生活の最良の友

## アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価250円 72円、年1,932円

発行所 (256) 小田原市国府津3-11  
替座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来41年続行中

# 各地区アシユラムの報告

## 第二十九回

### 「九州アシユラム」報告

去る九月七日、八日の両日、西南女学院研修所で表記の「九州アシユラム」を開催しました。

今回のアシユラムは、助言者として、日本クリスチャン、アシユラム副理事長土山牧善師を助言者としてお迎えし



ました。

偶々長く続いた酷暑も去り、最もよい時候でありましたが、それだけに同期日に他の諸集會が行われ、その方面に関わる人々もあつたり、家庭の諸事情で止むなく欠席される方々もあつたりして、期日が迫つても申込者が少なく、ハラハラさせられました。生ける主は、アシユラムの必要の故に、普段に近く、三十五、六名になり感謝しました。

のみならず、助言者も素晴しく、アシユラム精神に基づき幅広く、深く恵みと力に満ちた奨めをいただきました。それに加えて、鍋倉師や今村師などの奨めにも大いに感銘するものがあり、一同喜びと確信に満たされ、山を下り、自宅に、教会に、社会に向かわれました。

これからの各人の歩みに、このアシユラム精神に生きてこそ、その開催の目的に副うものでありますから、諸兄弟のお祈りを切に乞う者であります。費用も凡て感謝のうちに充たされました。「イエスは主なり」ハレルヤ

報告 山本繁夫

▲九州アシユラムに参加の皆さん

## 関東地区アシユラム報告

九月二十一日～二十三日、箱根クリスチャンアカデミーハウスに元救世軍大佐河合光治師を助言者として第三十回地区アシユラムを開催、参加者は四十名であったが、静粛で靈氣に溢れた集會であつた。

会期中開かれたファミリー・アワーで一年間の事業報告・委員の改選を行った。委員会開催回数十二回。「関東アシユラム」誌は連盟機関誌「日本アシユラム」誌に随時折りこみの形で添えることにし、「日本アシユラム」誌千部を配布している。常任委員は次回の委員会にて選出する。

\* — \*

### ◎地区アシユラム開催

▽九州アシユラム(報告・上記)

九月七日(月)～八日(火)

西南女学院研修所

助言者 土山牧善師(関西・理事)

▽関西アシユラム

九月十四日(月)～十五日(火)

千刈キャンパ

助言者 海老沢宣道師(理事長)

▽関東アシユラム(報告・上記)

九月二十一日(月)～二十三日(水)

箱根アカデミーハウス

助言者 河合光治師(救世軍)

◎これから開催されるアシユラム

▽四国アシユラム

十一月七日(土)～八日(日)

松山山越教会

助言者 海老沢宣道師(理事長)

▽東北アシユラム

十一月二十三日(月)～二十四日(火)

藏王山荘

助言者 向山自助師(関東・理事)

▽関東地区八丈島一日アシユラム

十一月二十九日(日)

八丈島シャローム教会

助言者 洲江淳一師(理事)

▽名古屋アシユラム 第二回

十二月二日(水)

活けるキリスト一麦教会

助言者 洲江淳一師

申込先下464名古屋市千種区希望ヶ丘

四一五―二六 水野雅義

登録費 一、〇〇〇円

▼アシユラムとは、故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱生活運動である。

▼連盟は、創始者の祈りによって各地に生まれたファミリーの全国的な交わりであつて、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。

日本クリスチャン・アシュラム連盟——2年間経常会計予算——  
1992年4月より1994年3月まで

【収入の部】		【支出の部】	
前期繰越金	325,000	全体理事会	300,000
地区アシュラム分担金	540,000 ※①	アシュラム・セミナー	300,000
理事協力金	220,000 ※②	役員会	100,000 ※③
有志献金	350,000	機関誌印刷代	480,000 ※④
書籍売上金	200,000	通信発送費	60,000
雑収入	10,000	広告宣伝費	100,000 ※⑤
		地区応援費	160,000 ※⑥
		諸雑費	145,000
【収入合計】	1,645,000	【支出合計】	1,645,000

※①地区分担金(各年度)

北海道	10,000
東北	10,000
関東	100,000
バルナバ中部	20,000
名古屋	10,000
関西	70,000
四国	20,000
九州	30,000
合 計	270,000

※②理事1人毎年1万円  
 ※③年4回  
 ※④年6回  
 ※⑤キリスト教年鑑  
 ※⑥助言者旅費など  
 以上の通り81号理事会報告に追加する。

### 連盟役員会報告

日時 一九九二年九月九日(水) 正午  
 から碑文谷教会にて開催  
 出席者(順不同、敬称略)  
 理事・海老沢宣道 大石嗣郎 渚江淳一 書記・飯島庸江 陪席・白川鄭二 以上五名  
 欠席者 土山牧善理事  
 機関誌八十一号発送作業後、開会祈祷を以て協議に入る。

(一)機関誌編集担当の件  
 渚江淳一理事健康上の理由のため、一時白川鄭二師に担当を願うことが理事長より報告され、一同は承認した。引き続き第八十二号編集内容について話し合った。発行予定十一月一日。

(二)地区アシュラム開催についての確認  
 (本紙第三面の開催報告、予定参照)  
 (三)第二回日本クリスチャンアシュラム・セミナー

一九九三年五月又は六月初旬、会場山崎製パン箱根山荘にて開催予定。テキストとして「インド途上のキリスト」を共同学習する。

(四)第九回国際アシュラム開催予定

一九九四年六月(？)、スエーデン国にて開催される予定。連絡あり次第発表する。

(五)四十周年記念日本アシュラムを一九

九五年に開催予定。

J・マシューズ師に助言者として来援を依頼した所、承諾の返事があった。皆で今から祈り、よい記念の時としたい。

(六)各地区からのニュースは、なるべく時々刻々左記へ送られたい。

〒三二二一〇二 栃木県今市市吉沢 五七九一十七 白川鄭二  
 Tel〇二八八一三二二七二五

(七)以上、協議の後、海老沢宣道理事長の司会により「さんびと祈り」の時を以て、午後二時半閉会した。  
 (記録書記 飯島庸江)

※尚八十一号全国理事会報告中、地区選出理事の名簿に「関東地区向山自助」が脱落していたことをお詫びし訂正します。

### 個人消息

○飯島延浩兄(関東アシュラム委員)

山崎製パン社長) 同氏は、大学卒業後、英国のポロ工業高等学校で製パンの実技を学ばれた。同校が創立百年を記念し、サウスバンク大学に昇格改称されるに当たり、同窓生で社会に貢献している人々を選び、名誉学位を贈ることになった。飯島兄は同校第一号の名誉博士を受けられた。母堂希和子姉及姉庸江姉と共に渡英、十月六日の式

典に参列し帰国された。

○大石嗣郎師(連盟理事、日本不戦兵士会々長) 平和の為に働く他の国の不戦兵士の会員と共に活動したことが認められて、国連にNGOとして登録された。今後、兵器輸出禁止運動に挺身される。

○芦名直道師 九月牧師住宅を含む二階建の多目的ホールを兼ねた伝道館の建設式を祝われた。

新刊 **聖ヨハネによる福音書**  
**—そのインド人への証し—**  
 A・ダヤ・プラカシュ・タイタス著  
 海老沢宣道・飯島庸江 共訳

スタンレー・ジョーンズ師はインド人にはインド人の如き心を以て、イエスは宇宙的な主であると説いた。その志を継いでイエスこそインド東洋思想の完成者であると著者はこのヨハネによる福音書の解説を以て力説している。東洋人必読の書。

1992年1月20日連盟発行 定価1,200円

東京都目黒区中央町1-21-10  
 碑文谷教会  
 日本クリスチャン・アシュラム連盟  
 振替口座東京〇一四五五八番  
 理事 白海老沢宣道  
 編集 大石川石川  
 発行 白海老沢宣道  
 定価 60円